

第三者評価結果の公表事項(母子生活支援施設)

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

② 評価調査者研修修了番号

SK15163 SK15164 第 2006-03 号

③ 施設の情報

名称：母子生活支援施設 きーとす岐阜		種別：母子生活支援施設
代表者氏名：玉木 ひとみ		定員（利用人数）： 20世帯
所在地：岐阜県		
TEL：非公開		ホームページ：
【施設の概要】		
開設年月日：平成19年7月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 豊寿会		
職員数	常勤職員： 10 名	非常勤職員 2 名
専門職員	(専門職の名称)	名
	施設長	1 名
	母子支援員	4 名
	心理療法担当職員	1 名
	被虐待児個別対応職員	1 名
	少年指導員	2 名
	保育士	3 名
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	1DK 8室 2DK 14室 (うち2室は車いす対応使用)	集会室 学習室 緊急保護室 医務室 心理室 保育室 会議室 事務所 ホール 遊戯室 図書室 IHキッチン 洗面浴室 トイレ ベランダ

④ 理念・基本方針

(法人理念) 誠実と笑顔で社会に貢献
(誓い)
① 私達は常に自己研鑽し質の高いサービスに真心で努め利用者の皆様に奉仕します。
② 私達はお互いに力を合わせ明るく楽しい施設運営に努め地域の皆様に奉仕します。

(運営方針)

少子化対策・次世代育成支援が国の課題として認識されつつありますが、母子家庭においては若いひとり親世帯が増加しており、児童虐待やDV(ドメスティック・バイオレンス)被害も引き続き深刻な問題となっています。また、障害がある母子も増えているのが現状です。きーとす岐阜の運営においては、地域の関係機関・団体との連携・協働しながら施設の専門性と機能を活かし、多様な課題を抱える入所者に寄り添った自立支援を進めることを基本方針とします。

●母親の自立支援

安心して生活できる環境を提供するとともに、自立した社会生活ができるように就労支援や育児相談、その他問題解決に向けて母子支援員が援助していきます。

●子どもの教育援助

子どもが大人に成長していく過程において、学校や集団生活に必要な人間関係の教育や、学習指導を母親といっしょに少年指導員や保育士が援助していきます。

●その他、専門性を活かした事業

さまざまな悩みや精神的疲労を和らげ、心身共に落ち着いた生活ができるよう心理士が援助していきます。また、施設の保育機能を活かした事業を実施していきます。

⑤ 施設の特徴的な取組

- ・「地域の関係機関等と連携・協働」「施設の専門性と機能の活用」「入所者に寄り添った支援」を運営の基本方針として施設入所に加えてトワイライト事業等を実施している。事業内容は母親の自立支援、子どもの教育援助、心理的援助、保育等、母親と子どもの生活全般に渡る支援を行っている。
- ・施設内はLANで繋がっているため、いつでもそれぞれの立場からのアクセスが可能であり、グループウェアを活用した総合的な支援への取り組みを可能にしている。毎日の業務や支援経過についてパソコンネットワークシステムを活用し、詳細に記録して職員間で共有化している。
- ・地域との関係性については、施設の特性による制限のある中、地域との交流やボランティア・実習生の受け入れ等に努めている。

⑥ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 29 年 6 月 27 日 (契約日) ~ 平成 30 年 3 月 26 日 (評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	2 回 (平成 26 年度)

⑦総評

◇特に評価の高い点

<母親や子ども一人ひとりとのふれあう時間を大切にしている。>

職員は社会人として、家庭人として、家事をしながら母親や子どもの手本となるよう、率先して働き、積極的に支援活動を行なう等、何事にも一生懸命対応している。また、朝の登校の際、子どもに掃除をしながら声かけし、様子をチェックしており、出勤する母親には挨拶しながら話を聞く等、ふれあいを大切にしてお送り出している様子がうかがえた。

<母親と子どもの意向や主体性の配慮ができています。>

毎月、母親の月例会や子どもたちの小学生の会でそれぞれ主体的に活動を計画し、実施できるように支援している。日帰り旅行や施設の行事を支援することは母親と子どものコミュニケーションを深めるきっかけになるため、積極的に支援している。年2回開催される「レスパイトデイ」では、母親が自由に自分のしたいことを楽しむ機会となっており、子どもたちの会では、発言がしやすく、生活のルールを自分たちで作る等、主体的な活動ができています。また、親子ともに精神的な安定や自立への意欲を高めていけるように様々な行事を企画し、参加しやすいよう工夫して提供している。趣味や行事等を通して何かを達成していくことで、自己有用感や自己効力感の獲得に資する肯定的な経験ができるよう、また主体的に行動できるよう側面的支援に努めている。

<施設環境に工夫がみられる。>

建物が施設的ではなく、生活の場としての設備が充実しており、季節感を感じさせる設えがなされている。施設内は彩り豊かな造りで、南向きで明るく、廊下、共用空間等の設計は安らぎを感じるよう工夫され、諸設備が充実している。同時にセキュリティシステムが厳重に整備され、安心安全の確保ができています。また、広い中庭には自然を取り入れ、行事を開催する等憩いの場として活用されている。居室はスペースが広く、採光に優れており、親子で生活を営んでいく上で必要な設備が十分に整っている。

◇改善を求められる点

<地域ニーズに基づいた公益的事業のさらなる拡充に向けた取り組みを期待したい。>

地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。地域の母子生活支援の拠点施設として、制限のある中、トワイライト事業の実施や地域の清掃作業等の地域貢献や地域との交流を図りつつ、地域の公益的な事業・活動の可能性について常に意識して施設経営を行っている。これから、社会福祉法人改革の流れの中で、法人の使命として、公益的な事業活動がより求められてくる。今後、地域ニーズの潜在的なニーズを捉え、この分野でのさらなる事業拡充に向けた取り組みに期待したい。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、これまでの支援のあり方や実施方法、施設運営など振り返り見直すことができ、母子とのふれあいを大切にした関わりや生活環境の整備について日々職員が意識している点や、利用者の秘匿性を優先する施設の役割や特性を再認識することができました。改善点として挙げられた地域との関わりについても地域に根差した施設としてどんな地域貢献ができるのかを手探りで毎年少しずつ新しい取り組みを行っていますし、今後も取り組んでいきます。これからも評価して頂いた内容を検討しながら、利用される方にとって安心して生活しやすい場所となるよう更なるサービスの提供を進めていけたらと考えています。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。